

2019年度 地域連携活動報告書

連携先名称：横浜市環境創造局

協定締結日：2018/10/22

活動状況：継続中

連携先窓口：環境創造局政策調整部政策課 堀田 誠治（共同研究担当）

活動資金：自治体予算

担当教員（所属）：金子忠一・福岡孝則（造園科学科）

活動体制（単位）：研究室

関連教員（所属）：鈴木伸治・岡澤 宏・山崎由理（生産環境工学科）、および両学科研究室の大学院生・学部生

活動目的：都筑区折本町地区農地整備に係るグリーンインフラ検証に関する共同研究の実施（2019年～継続）

・横浜市環境創造局は「気候変動適応策に適応したグリーンインフラの活用」を推進しており、SDGs 未来都市（内閣府）としても持続可能な都市のモデルとして施策を展開している。本研究は、横浜市環境創造局内の下水道・農政関連部局と共同で「都筑区折本町地区農地整備に係るグリーンインフラ検証に関する共同研究の実施」に取り組むことを目的とする。

活動内容・成果：

1. 2019年度に実施した共同研究に関する活動として以下を実施した。

- ・折本町地区農地における現地調査、農業組合との情報・意見交換
- ・同敷地における UAV 調査、土壌調査などを2敷地の条件の違う農地における既存の状態の調査を行った。2020年度の工事で土地造成や植栽工事などを行い同改修に基づいた雨水流出抑制効果などを検証する予定である。
- ・横浜市環境創造局担当部署と地域環境科学部造園科学科ランドスケープデザイン研究室、同生産環境工学科地水環境工学研究室、水利施設工学研究室の教員が参加し合計23回ほど打ち合わせ、情報・意見交換等を実施した。
- ・上記に加えて、個別の調査も大学院生・学部生も参加して数多く実施された。

2. 本研究の成果は報告書として取りまとめた。（別途送付）2020年度も共同研究として継続予定である。

・研究の内容については、横浜市の HP の一部で紹介されている他、シンポジウムや市内の勉強会などで公表された。しかしながら、現在継続中の共同研究であるため、本格的な結果報告は研究完了後となる予定である。

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kasengesuido/gesuido/bousai/green_infrastructure.html

・本研究の成果は、横浜市環境創造局が展開するグリーンインフラ施策等に生かされる予定である。

課題・改善点：

・2019 年度は協定に基づく充実した活動が展開された。特に課題や改善点はない。